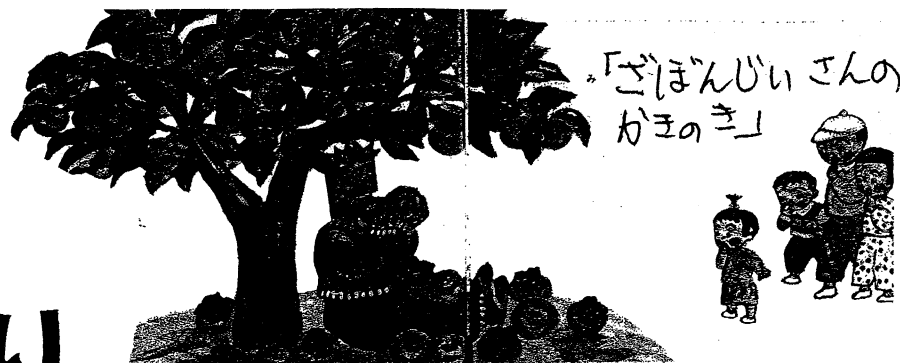


11月の 園便り



25年 新潟青陵幼稚園 加藤 由美子

卒園児さんの保護者の方からお聞きしたことです・・・

「スナホリモリホリ 2013」というイベントがあって、6年生になった3人の卒園児さんが参加したそうです。これは関屋浜で行われたものだそうです。この内容については、実際にパソコンでご覧になったほうがよくわかると思いますが……「スナホリモリホリ 2013」で検索……この砂浜で創造活動をしている様子が動画で流れています。動画の中の主として映っているご家族は別の方々ですが、映像の中に時折、カチューシャをした女の子と男の子2人が出てくるのです。その映像を見ていると、まさに飽くことなく砂を掘り、海水を汲み流し・・・と繰り返しているのです。その活動はとどまることなく続いていますし、木の板を埋め込んであったり工夫もなされ、本当に夢中になっている様子が映っています。

この会を主催されている方が、「この砂浜で、好きなようにしていいよといわれても、おおかたの子は棒立ちになるのですよ、この子たちはよく遊びますね、どこの幼稚園でしたか？」と聞かれたそうです。この方はきっと、“こういう力が幼児期に作られる”ということをよくご存じなのだと思います・・・だから「どこの小学校？」という問いではなく「どこの幼稚園？」という問いになったのだと思います。「毎日園庭でやっていたことですものね、私たち母親は子どもたちの姿を離れたところから見ていたのですが、ほんとに夢中でやっていて、すごいよね、この集中ぶりって言ってたんですよ。」と教えてくださいました。卒園児さんたちは、砂浜で棒立ちになるどころか、大喜びで“すぐに”取り組んだことでしょう。そして、その遊びに「没頭」して・・・以前にも書きましたが、物質的なこの世を超越した世界（＝芸術家が芸術作品に取り組んでいる時と同じ世界）を経験していたことと思います。よく遊んだ子は、想像性が豊かで、創造性も持ち合わせていて、自分たちの世界を造りあげることができるようになるのです。大人になっても、これは続いていくことなのです。クリエイティブな仕事ができる人間になる土台は、幼児期に作られるのです。幼児期にどれだけ遊びに夢中になれたか、これはとても重要なことなのです。青陵幼稚園の教育は、将来きちんと自立して自分で考えて自分で生きていくことができる“土台”を作る教育なのです。本当に毎日、子どもたちは、日がな一日砂を掘り、水をかけ、泥をこね、穴を掘り、と飽きずにやっています。これはただ単に「自由に遊ばせてくれる幼稚園」なのではないのです。やりたいことができる、自分に自信ができる、意欲が育つ、考える、さらに遊びが充実する、こうした積み重ねによって真の力が育つのです。〇〇ができる、△△が上手、という目に見える力をつけるのは簡単なことですが、目に見えない力をつけるのは、実は「一見地味に見える『遊び』」なのです。

25年11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	金	○	2:00		
2	土	×	11:30	自由登園日です。	
3	日	/	/	文化の日	
4	月	/	/	振替休日	
5	火	○	2:00		
6	水	×	11:30	新入園児保護者会がありますので午前保育です。	
7	木	○	2:00		
8	金	○	2:00		
9	土	/	/	第2土曜日	
10	日	/	/		
11	月	○	2:00		
12	火	○	2:00		
13	水	○	2:00	お父さんの会の方々が机磨きのボランティアをしてくださいます。	
14	木	○	2:00		
15	金	○	2:00		
16	土	×	11:30	自由登園日です。	
17	日	/	/		
18	月	○	2:00		
19	火	○	2:00		
20	水	×	11:30	誕生会です。11月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
21	木	×	11:30	研究会を行うため午前保育です。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。	
22	金	○	2:00		
23	土	/	/	勤労感謝の日	
24	日	/	/		
25	月	○	2:00		
26	火	○	2:00		
27	水	○	2:00		
28	木	○	2:00		
29	金	○	2:00		
30	土	×	11:30	自由登園日です。	